

K 広報くにみ Kunimi

Aug.2021
No.577

8

ひんやり、「蓮の葉シャワー」

Contents (主な内容)

- ② あつかし千年公園
- ⑥ タウンミーティング
- ⑧ 県北中学校職場体験
- ⑫ まちのわだい
- ⑳ まちの情報ボックス



阿津賀志山防壘
調査・整備指導委員会
委員 中村 洋平さん

歴史まちづくり計画策定後、阿津賀志山防壘調査・整備指導委員会の中で計画検討してきた歴史公園がようやくオープンを迎えることができました。想像以上に素晴らしくて嬉しく思います。千年以上も長く後世に伝え残していけるように大事に見守ってまいります。

ハスの花もこれから見頃を迎えるので、町内外を問わず多くの人が見に来てくれることを期待しています。

今日はライトアップで色とりどりのハスの花が咲いていました。カメラマンも多くいましたが、素晴らしい作品ができることでしょう。



「あつかし千年公園」名付け親
県北中3年
久保 大虎さん

岩手から国見へ引っ越してきて、道の駅国見でハスの花の写真を見ました。「これはどこの写真だろう」と気になっていて、調べると平泉の中尊寺から来たハスだとわかり、自分がいた岩手と繋がっていることに嬉しく思いました。

そしてタイミング良く、歴史公園の愛称募集を見たので、母と相談して、国見町が千年以上続いていることを知り、この名前を考えました。自分が選ばれたことが今でも信じられません。

小さな子どもからお年寄りまで、みんなが利用してもらえるような公園になってほしいです。

これからもずっと、みなさんに愛される公園になってほしい

「あつかし千年公園」にかけたそれぞれの思い



訪れた来園者らは幻想的に浮かび上がった「阿津賀志山防壘」と「中尊寺ハス」の姿に酔いしれていました

悠久の歴史に思いを馳せ、いざ激戦の地へ あつかし千年公園オープン

鎌倉時代、東北地方をひとつに治め、この世の栄華を極めた奥州藤原氏。藤原三代秀衡が、朝敵となった源義経をかくまったことが藤原氏討伐の引き金となりました。鎌倉軍と藤原軍が激戦を繰り広げ、幾多の兵が命を燃やしたこの地に、「あつかし千年公園」がオープンしました。

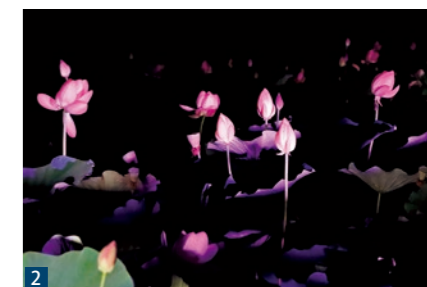
7月10日、日が沈むとあたりが静寂に包まれました。先程までの雨もあがり、涼しげな風が公園を吹き抜けて行きます。

阿津賀志山防壘下二重堀地区に歴史公園「あつかし千年公園」がついにオープンを迎えました。

阿津賀志山の裾野に広がる国指定史跡の「阿津賀志山防壘」と、800年の眠りから覚めた「中尊寺ハス」がライトアップされ、暗闇に美しく浮かび上がりました。

「あつかし千年公園」は、先に整備した国見町文化センター「あつかし歴史館」、道の駅国見「あつかしの郷」と連携し、周遊観光のベースとなる施設のひとつです。

1_点灯式ではライトアップのスイッチが押され、花火も打ちあがりました
2_色とりどりのライトアップにより幻想的な雰囲気となったハス池



オープン当日は、「一般社団法人二重堀サポートネットワーク」理事の氏家博昭さん、「あつかし千年公園」の名付け親の久保大虎さんも来園。幻想的な雰囲気となったかつての激戦の地で、オープンの様子を静かに見届けました。

ライトアップには多くの来園者が訪れ、阿津賀志山防壘の壮大なスケールを肌で感じ、大輪の花を咲かせる「中尊寺ハス」を眺めながら、遙か昔の歴史舞台へ思いを馳せていました。

翌日の11日から、「くにみ蓮まつり2021」が8月15日まで開催中。公園内に史跡やハスの案内ガイドが配置され、地元産品の販売等を行う「蓮ミニマルシェ」、蓮育成体験なども行われています。



未来の「あつかし千年公園」を みなさんと一緒に考えていきたい――

一般社団法人 二重堀サポートネットワーク

理事 氏家 ^{ひろあき}博昭さん



平泉町から中尊寺ハスの種を譲り受けてから13年、平成21年から平成23年にかけて小さな田んぼに種の植え付けを始めてからちょうど10年が経ちました。ハス池をみなさんに楽しんでもらえるよう、公園として整備するという夢が10年で叶ったことは本当に感無量です。

私たちが所属している「一般社団法人二重堀サポートネットワーク」ですが、その前身は「中尊寺蓮育成会」というもので、現在は21名の会員で活動をしています。地域の方々や若い人たちにも所属していただき、ハスや公園の管理を中心に活動を行っています。「中尊寺蓮育成会」の頃から数えると今年で10年目。公園の管理に限らず、二重堀やハス池に関する町の歴史を町内外の方に広く伝えていきたいです。また、この公園の今後の姿をみなさんと一緒に考えていくことを目的とし、活動を続けていきたいと考えています。

この阿津賀志山防塁は800年前に歴史が大きく変わった場所です。貴族中心の社会から武家社会へと歴史の転換が起こったこの地で、平和を尊重した奥州藤原氏の「平泉の精神」を後世に伝えていきたいと思っています。あつかし千年公園を訪れた方たちが、この地に刻まれた歴史を知り「平和の大切さ」を改めて考えてもらえるような公園にしたいと思っています。

地域の方々や町、たくさんの人々に支えられて作り上げた「あつかし千年公園」です。まさに「国見の宝」になると実感しています。美しく整備された公園をぜひ一度訪れて、風景の美しさと壮大さを体感してみてください。



改めて町の良さを知りました

新聞広告を見て来ました。町内に住んでいるので、中尊寺ハスのことは知っていたのですが、ハス池に来たことは無く、実際に見てみると想像していた以上にすごく綺麗でした。こんなにたくさんの花が咲いていることにも驚きましたし、もっと早くに来ていれば良かったと思いました。公園も歩きやすく整備されていたので、また来てみたいです。



町内在住
高橋 侑花さん



梁川町在住
三好 良和さん

ハスの花の大きさに驚きました

公園として整備される以前から、何度か見に来たことはありました。今回は母にハスの花を見せたいと思い家族で来てみました。以前のハス池は田んぼでしたが、このように整備された様子を見ると、とても綺麗で見やすくなったと思います。ハスの花も大きくて、とても見ごたえがありますね。連れてきた母も喜んでくれたので、また機会があれば来たいと思います。



4



3



2



1



7

1_週末には案内ガイドやミニマルシェも開店 2_子どもたちも来園 3_雨上がりのハス池 4_公園内にはベンチも整備 5_公園内から臨む阿津賀志山防塁と阿津賀志山 6_雨上がりの虹 7_あずまやで休憩 8_青空に向かって伸びるハス 9_魅力的な香りに誘われて



6



5



交通対策協議会長賞（最優秀賞）を受賞したみなさん

国見小児童が交通安全を呼びかけ 国見町小学生交通安全標語コンクール

国見町交通対策協議会（引地真会長）は、交通安全への意識を高めてもらうことを目的に、国見町小学生交通安全標語コンクールを毎年開催しています。国見小学校の児童を対象に交通安全標語を募集し、応募総数153点の中から、入賞作品26点選ばれました。入選した標語が書かれた看板は町内各地に設置され、交通事故防止を呼びかけます。なお、例年開催している表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

【入賞者】（敬称略）

◆交通対策協議会長賞

吉田 圭汰（二年）
井砂 心華（二年）
八島 桜子（三年）
高橋 一陽（四年）
安齋 倫之助（五年）
堀江 咲羽（六年）

◆教育長賞

阿部 絆音（二年）
安藤 紗夏（二年）
齋藤 大雅（三年）
齋藤 葵（四年）
佐藤 暖仁（五年）
川名 莉々（六年）

◆優秀賞

石井 月咲（二年）
渡邊 航平（二年）
吉田 爽太郎（三年）
井砂 尊（四年）
オスタフィエラ ソフィア（五年）
村上 京汰（六年）

◆交通安全協会各支部会長賞

藤田・八嶋まなか（四年）
小坂・佐藤 遥斗（二年）
森江野・近野 愛花（六年）
大木・後藤 亜梨沙（五年）

◆各地区交通安全母の会長賞

藤田・八島 奎祐（六年）
小坂・田村 悠琉（二年）
森江野・村上 星花（五年）
大木・高橋 明里（二年）

夏の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

交通事故ゼロへ 街頭キャンペーン

夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動（7月16日～25日）の県下一斉強化日にあわせて町交通対策協議会は7月16日、道の駅国見あつかしの郷とJR藤田駅前で交通安全啓発活動を行いました。

交通安全協会各支部や各地区交通安全母の会、警察署の皆さんが交通安全啓発のチラシやティッシュ、反射材を配布し、交通事故防止を呼びかけました。

今年度は、交通安全標語コンクールにおいて、応募があった作品でデザインした啓発ポスターも作成し配布、各家庭から交通事故防止に取り組みます。



夜間は反射材を付けましょう



いつでも安全運転に努めましょう



道の駅ではくにみもたんも啓発活動に参加



保護者の皆さんと積極的な意見交換を行いました

タウンミーティングを開催しました

— 『真コラボと〜く』がスタート —

町民と行政の協働によるまちづくりの推進を目的として、引地真町長が地域に出かけ、直接町民と意見交換を行う「真コラボと〜く」（タウンミーティング）を7月11日より開始しています。

この日は、小学5・6年生を対象とした「放課後塾ハル小学部」の保護者説明会後に、引地町長が座に入り行いました。保護者からは「子どもが自ら塾通いを希望してくれた」と喜びの声があったほか、「今年からスタートした給食費無償化はとても助かる」、「防災教育を推進してほしい」など、さまざまな意見が出されました。

また、引地町長は、「国見町で産み、生まれ、育つことを誇りに思えるような環境づくり、町政運営をしていきたい」と述べました。

今後も不定期開催になりますが、引地町長が各地域に出かけ、さまざまな立場の皆さんから直接意見を聴く機会を設ける予定です。

引地町長が突然訪問することもありますので、皆さんが感じている地域の課題や、現状についての貴重な「声」をお聴かせください。



1 通いの場（鳥取・内容）を訪問
2 商工会青年部との意見交換
3 意見を述べる参加者
4 保護者ならではの意見も
5 イキ子育て教室では子どもたちのふれあい

働くことの大切さを学ぶ

県北中学校2年生が2日間の職場体験を行いました

先日職場体験をした生徒5名に、働くことに対する思いや考えを聞きました。
職場体験を経験し、自分たちの将来に対する思いがどのように変化したのでしょうか。

県北中学校の2年生60名が、7月7日から8日の2日間、町内外の12事業所で職場体験を行いました。生徒たちは、飲食店から官公庁、農業や病院などさまざまな分野の仕事を体験。その分野のプロフェッショナルと仕事を共にすることで、仕事に必要な知識や技術、仕事に向き合う姿勢や働くことの厳しさなどを学びました。教室では学ぶことができない、職場の雰囲気やそこで働く人たちの思いなどを肌で感じる貴重な機会となりました。大人たちから、「しっかりと勉強をして知識と技術を身に付けることが必要」「継続して鍛錬することが大事」と言われ、自分たちができるかどうか不安な表情をする生徒たち。しかし、2日間の職場体験を終えた生徒たちの顔には、将来に対する不安や心配も浮かびますが、それを乗り越え夢を叶えようとする、強い意志を感じることができました。



1_ 血圧測定を体験 2_ 真剣に心臓マッサージを学ぶ 3_ 消費期限をしっかりと確認 4_ 収穫した野菜を袋詰め 5_ 重い呼吸器を装着 6_ 緊張しながらの接客 7_ 収穫後の枝を剪定 8_ 商品を丁寧に陳列

相手に寄り添う心の大切さを学びました

私の将来の夢は養護教諭になることです。今回の職場体験では、自分の夢の実現に役立つことを学びたいと思い、医療系の仕事を希望しました。看護師さんを含め、病院で仕事をされている人たちは、自分の仕事をこなすだけでなく、常に周囲に気配りをして、困っている人がいればすぐに声をかけていました。自分だったら同じような対応ができるかどうか心配になってしまいました。今回の体験では、患者さんの目線ではなく職員目線から仕事を見たり、実際に体験することができたので、とても勉強になりました。

今後は将来の夢に向かって、相手を大切に寄り添う心を持つことを心掛けて生活していきたいと思います。



公立藤田総合病院
大槻 夕依 さん

困っている人を助ける職業に就きたい

消防士のように人を助ける職業に憧れを持っているので、普段はどんな仕事をしているのか知りたいと思い希望しました。実際に2日間体験してみると、消防士の皆さんには車両点検や事務作業など、訓練以外にもたくさんの業務があることを知り、忙しい日常業務の合間に自分自身のトレーニングをしていることに驚きました。

呼吸器を背負っての要救助者訓練や放水訓練など、貴重な体験をすることができました。中でも、心臓マッサージの訓練では、ひとつひとつの手順を詳しく学ぶことができたので、これまでのぼんやりとした知識ではなく、きちんとした知識を身に付けることができたと思います。



伊達地方消防組合 中央消防署西分署
宇野 羅沙佑 さん

もっと詳しく農業のことを学びたい

もともと農業に興味があったことと、会津にある母の実家が農業を営んでいて、将来はそこで農業を手伝いたいと思っているので、今回の体験を希望しました。2日間で体験したことは全て楽しかったのですが、印象に残ったのは収穫した野菜の袋詰め作業です。野菜を大きさや重さで分け、傷がつかないように袋詰め作業を行いました。難しかったことは、ミニトマトの収穫後の剪定作業です。剪定が必要な枝をなかなか見つけることができず、指導員の方に手伝ってもらいました。

2日間の職業体験はとても短く感じられました。もっとたくさんの体験をしたかったです。今後は自分の夢の実現のため、農業のことを詳しく学びたいと思います。



くのみ農業ビジネス訓練所
後藤 慧伍 さん

お客様の「ありがとう」にやりがいを感じました

新しくできた「道の駅くにみあつかしの郷」の中の様子や、従業員の方の働く姿を見たいと思い、体験を希望しました。実際に体験してみると、働くことはとても大変でした。ですが、体験したことの全てが楽しく、中でもレジ打ちの作業が一番印象に残っています。お客様とのやり取りの中で、「ありがとう」と笑顔で声をかけてもらったことが、本当に嬉しくてやりがいを感じました。体験したこと全てが初めての経験だったので、簡単ではありませんでした。特に野菜の梱包は、大切な商品にキズを付けないよう、ひとつひとつ大切に、同じ形になるように仕上げるのがとても難しかったです。

社会人になったら、どんな職業に就いたとしても、仕事のひとつひとつを丁寧にこなし、楽しみながらできるようになりたいと思います。



道の駅国見あつかしの郷
佐藤 優真 さん

頼りにされるのが嬉しかったです

いつもはお客さんとして利用していますが、従業員という立場から仕事を体験し、自分自身が接客業にむいているのかどうかチャレンジしたいと思いました。注文を取るときに上手く話ができなかったり、混雑している時にコップ洗いが追い付かなかったり、大変なこともありましたが、色々な体験をするなかで、お店の方に何度も頼ってもらえたことがとても嬉しかったです。食器を洗ったり、料理を運んだり、母が毎日してくれていることがとても大変なんだと実感できました。今後は母に頼ってばかりではなく、自分でも家事の手伝いをしたいと思いました。

2日間という短い時間でしたが、接客の仕方やお客さんに対する態度などを学ぶことができた貴重な体験になりました。



あぶくまレストラン
近野 結花 さん

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



源頼朝軍による防塁突破の痕跡を探る… 奥州合戦の歴史解明に挑んだ阿津賀志山防塁発掘調査!!



地域振興係の安田稔が報告します。

町では、国史跡「阿津賀志山防塁」の整備を進めるため発掘調査事業を継続的に実施しています。今年度も、第26次発掘調査として6月の1か月間実施しました。

今回の調査である東・西国見地区は、古代の東山道と防塁が交差する地点を含んでおり、奥州合戦における頼朝の進軍において、防塁突破地点と予想された地区でもあります。突破に際しては、工作隊による防塁の切り崩しと埋め立てが行われたとの記録があり、今回の調査ではその痕跡調査も目的の一つとしました。



第26次発掘調査地区



発掘調査の作業状況

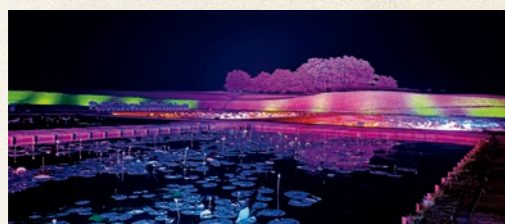
調査の結果、2か所で防塁の外堀と考える遺構が検出されましたが、一部後世の国見石採掘により改変されている様子が確認されました。また、外堀は鋭角の逆三角形（深さ約2m）となっており、防御に優れた構築であることを再確認しました。

残念ながら頼朝軍の破壊工作作業の痕跡を見つけることはできませんでしたが、現在平坦な地形となっている部分にも堀跡がしっかりと残っており、防塁が途切れることなく続いていることを確認することができました。

あつかし千年公園落成式を終えて…

「それではまいります。」「3, 2, 1 どうぞ!…」あつかし千年公園落成式典において、司会の案内により公園内がライトアップされ、花火が打ち上げられました。「やっと終わった…」式典の終了を迎え感無量でした。阿津賀志山防塁と蓮池のライトアップという美しい光景に、落成式の来賓・一般客問わず多くの人たちが楽しそうに写真撮影に没頭していた光景が嬉しく思いました。

翌日もライトアップの予定でしたが、日中は雨模様で荒れた天候でした。幸運にも夕方には雨が止んできましたが、集客はあまり見込めないと考えていました。悲観



初夏の夜空に光で照らされた防塁と蓮池

的な思惑で夜のあつかし千年公園へ向かうと…「めちゃめちゃ混んでる!!」自分が想定していたよりもはるかに上回る来場者がいたのです。コロナ禍で外出自粛をしている人たちがうっぴんを晴らすかのように、次から次へ写真を撮りに来場し、駐車場も満杯になっていました。

国見町には、お城のような一見華やかに感じる文化財はありません。しかし、今回は地元町内会や地権者及び(一社)二重堀サポートネットワークにご協力をいただきながら、民間団体と国見町(行政)が一心同体となって進めてきた新しい形の文化財活用です。

「国見にはこれだけ誇れる歴史的資源がある!」現存する文化財資源をどのようにPRしていくのか…、われわれに残された課題が見え隠れしていました。



地域振興係の大竹由樹の報告でした。

Thankyou for the wonderful time ジェシカ先生ありがとうございました

英語指導助手のジェシカ・ハーヴィ先生が、任期を終え7月で国見町を離れることとなりました。ジェシカ先生は、平成29年8月から4年間、子どもたちに英語の楽しさや素晴らしさを教えてくれました。ジェシカ先生は故郷のニュージーランドに帰国しますが、国見町で体験し感じたことを多くの人に伝えてもらいたいと思います。ジェシカ先生、4年間ありがとうございました。



国見町の皆さまへ

4年間大変お世話になりました。初めて国見町についた時自然の豊かさに感動して、とても良い町だなと最初から思いました。桃を食べきれないほど多くいただいて、国見町の人たちのやさしさも知ることができました。最初は、1年間か2年間ぐらいいるつもりでしたが、なんと4年間になり、皆さんのやさしさや国見町の美しさのおかげで、大変素晴らしい経験ができました。

3人家族で来たので色々不安でしたが、すぐ慣れて国見町がMY HOME のようになりました。皆さんののおかげです。心から感謝しております。4年間は本当にあっという間に過ぎてしまいました。

ニュージーランドに帰ったら大学院に入って、先生の免許が含まれている Masters of Teaching & Learning を勉強するつもりです。ニュージーランドの高校で「国語」<英語>の先生として働きたいと思っています。もちろん日本語も教えたい!

生徒たちの成長を見ながら英語を教えたり、一緒に遊んだりすることができて、光栄に思っています。国見町でできた思い出をいつまでも大切な宝物として大事にします。皆さんのことや親切さを一生忘れません。国見町の子どもたちの英語はとても上手で感動しています。これからも頑張るね!夢がかなうように祈っています。

大好きな皆さんと国見町。大変さみしくなります。機会があったら是非ニュージーランドにいらっしゃってください。未来にまた日本に戻りたいので、また会いましょう!素晴らしい経験を心から感謝しております。国見町の皆さん、4年間大変ありがとうございました。Thank you very much!

See you ...



贈られた花は各施設に飾られています

思いやりの心とともに “人権の花”を町内団体へ寄贈

国見小学校の整美委員の児童と町人権擁護委員のみなさんが7月16日、人権の花運動で育てた花を町、社会福祉協議会、国見の里へ贈呈しました。国見小学校体育館で行われた贈呈式では、鈴木那菜さん（6年）が「大切に育てた花を多くの方に見ていただき、心を癒してほしいです」とあいさつし、各団体の代表へ花を寄贈しました。



勝利に向け意気込みを見せる選手の皆さん

国見町青少年育成町民会議 奨励金交付式

国見町青少年育成町民会議（引地真会長）は7月19日、県大会に出場する児童生徒のみなさんに奨励金を交付しました。

【第67回福島県高等学校体育大会出場】

陸上競技・武田実梨（高3）、ソフトテニス競技・渡辺乙葉（高2）、
穴戸結（高1）、佐久間柊友（高1）、佐藤遥哉（高1）、鈴木拓磨（高1）

【第74回福島県総合体育大会スポーツ少年団の部】

ソフトテニス競技・岩城龍音（中3）、引地英太（中2）、森悠惺（中3）、
佐藤来未（中2）、半澤華那（中3）、佐藤優心（中1）、齋藤萌那子（中1）、
齋藤充希（小5）、八島奎祐（小6）、鈴木碧（小6）、佐久間友梧（小6）、
四家侑磨（小6）



菊地弘美教育長から奨励金が手渡されました

国見自慢のおいしい桃をPR 全国各地で町産桃のPR販売

国見町は、7月25日に岩手県平泉町の「道の駅平泉」、7月31日・8月1日には災害時相互応援協定を結ぶ岐阜県池田町の「道の駅池田温泉」で町産桃のPR販売を行い、国見の桃のおいしさや町の魅力を発信しました。

相互交流を行っている両町で、国見町産の桃は大人気で用意した桃はあっという間に完売しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として試食を行うことはできませんでしたが、町産桃を買い求める方がとても多かったことから、品質の高い国見の桃が各地の皆さんにとって、非常に人気があることがうかがえました。

町では、今後も桃をはじめとする町の特産品を全国各地でPRしていく予定です。



「道の駅平泉」でのPR販売



「道の駅池田温泉」でのPR販売



100歳を迎える阿部榮作さん（誕生日は7月2日）

元気に長生きしてください 阿部榮作さん 100歳のお祝い

満100歳を迎える阿部榮作さんへの県知事賀寿と町敬老祝金の贈呈式が7月1日、阿部さんの自宅で行われました。武田正裕福祉課長が知事賀寿、敬老祝金、花束を手渡し100歳を祝いました。

阿部さんの長寿の秘訣は、「たくさんの人と会話をし、家族から大切にしてもらうこと」と話していました。



活発な意見交換を行う参加者たち

就農に向けた課題解決のために 新規就農に向けた目標達成の総合討議

新規就農に向けた目標達成の総合討議が7月1日、道の駅国見あつかしの郷で開催されました。くにみ農業ビジネス訓練所の長期研修生6名が参加し、就農に向けた課題をそれぞれ出し合い積極的な討議を行いました。参加者からは「土地や機械、農業のノウハウが無い」「就農から数年は助成金等があるが、その後の経営が心配」などの意見が出されていました。



犯罪や非行のない安全・安心な地域社会をめざして

犯罪や非行のない社会を 「社会を明るくする運動」国見町推進委員会

犯罪や非行のない安全・安心な社会を目指す第71回「社会を明るくする運動」推進委員会が7月2日、国見町役場で行われました。朝内尚光委員が菅義偉内閣総理大臣、内堀雅雄福島県知事のメッセージを読み上げ、引地真町長に手渡しました。引き続き、出席者は犯罪や非行のない社会の実現へ向けて意見を交わしました。



有功章を受章された一條勝彦さん

70回の献血に協力 日本赤十字社銀色有功章表彰

献血70回を達成し、日本赤十字社銀色有功章を受章した一條勝彦さんへの有功章伝達式が7月7日、国見町役場で行われ、安藤充輝ほけん課長から表彰状と記念品が手渡されました。

表彰を受け、一條さんは「自分でも気づかないうちに、いつの間にか70回に達していた。これからも献血を続けていきたい」と述べました。



贈られた桃を手にする園児たち

甘くておいしい桃だ～いすき!! ふくしま未来農業協同組合が桃を贈呈

ふくしま未来農業協同組合は7月15日、伊達地区で生産された安全で甘くておいしい桃をくにみ幼稚園の園児に贈りました。八島秀行国見営農センター長から桃を受け取った園児らは、感謝の気持ちを込めて描いた桃のイラストを手渡しました。

八島秀行センター長は「おいしい桃を食べて、桃太郎のように元気いっぱい過ごしてください」と話しました。

国見町子育て世代包括支援センター

ももさぽインフォメーション

ニコニコ相談会

- 実施日** 9月15日(木)
- 時間** 午前10時～午前11時
- 会場** 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者** 国見町在住の妊婦
国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物** 母子健康手帳、お子さんの飲み物
- 申込み** 前日までに、ほけん課保健係又は藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

乳児健診

- 実施日** 9月30日(木)
- 時間** 午後1時15分～午後1時45分
- 会場** 観月台文化センター第1和室
- 対象者** 3か月児(令和3年5月生まれ)
9か月児(令和2年11月生まれ)
- 持ち物** 母子健康手帳、オムツなど
- 内容** 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて

けんこう健口キッズ

7月13日に実施した3歳6か月健診で、むし歯が1本もなかったお子さんたちです。



食育シリーズ



町では、食生活改善推進員のみなさんと栄養士が、くにみ幼稚園の子どもたちを対象に食育教室を開催しています。7月は年長・年中組でそれぞれのテーマで開催しました。



「旬の食材について知ろう」(年中組)



「正しい箸の持ち方について」(年長組)

保健 だより



ほけん課 保健係 ☎585-2783
E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

国見町健康ポイント事業にご参加ください!

「国見町健康ポイント事業」は、毎日の運動や食生活、各種健診受診、社会参加などのさまざまな健康づくりに取り組み、「健康ポイント」を集めるものです。ポイントを集めると「ふくしま健民カード」がもらえます。そのカードを県内の協力店で提示するとさまざまな特典が受けられます。

おうちでできる健康づくりにチャレンジして、お得な特典をゲットしましょう。

■対象者 18歳以上の国見町民(高校生を除く)

■参加方法

- ①ほけん課保健係の窓口で「国見町健康ポイント事業 記入台紙」を受け取ります。
- ②台紙の項目に従って健康づくりを行い、ポイントを記入します。
- ③ポイントが集まったら、ほけん課保健係に持参ください。ポイントに応じた「ふくしま健民カード」と抽選で福島産米などが当たる「プレゼント応募はがき」をお渡しします。

■実施期間 令和4年3月1日(木)まで

※ふくしま健民カードや協力店の詳細については、福島県ホームページをご覧ください。



詳しくはこちら



「特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法」に関する出張相談会のお知らせ

【弁護士によるB型肝炎特別措置法無料相談会】

- 日時 9月25日(木) 午後1時30分から午後4時(午後3時受付終了)
- 場所 コラッセふくしま(和室1・2) 福島市三河南町1-20
- 内容 集団予防接種でB型肝炎になった人とその家族を対象とした弁護士による相談会
- その他 予約優先、当日会場での申し込み可、個人情報厳守

【弁護士によるB型肝炎特別措置法電話無料相談会】

- 日時 9月11日(木)・11月13日(木) 午前10時から正午
- 内容 B型肝炎特別措置法に基づく給付金支給手続きに関する相談
電話相談無料(通話料はかかります) ☎025-223-1130

☎全国B型肝炎訴訟新潟事務所 025-223-1130

生涯学習

つうしん

国見町教育委員会生涯学習課
 (観月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
 https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/kangetsudai/

リュッケ じかん LYKKE 時間

第29話「短い夏の時間」

フィンランドの夏は、とても短い。だからこそ、子どもも大人も思いきり夏を楽しみます。6月から8月末まで保育施設や学校は約2か月間の夏休みに入ります。この時期のお楽しみは、何といても太陽の光を存分に浴びることです。というのも、フィンランドでは11月から日照時間が極端に短くなり、お日様にはめったにお目にかかれなくなるからです。その他のお楽しみは、湖で泳ぐ、森を散策する、テラスでのんびり本を読む、アイスクリームの食べ歩き…など、手軽にできるものがほとんど。太陽がある、それだけで幸せを感じる季節なのです。



湖畔に建つ夏小屋 (フィンランド)

文：柴田千賀子 (国見町出身の保育研究者。仙台大学教授)

家族に絵手紙を送ろう

少年仲間づくり教室「絵手紙教室」



講師の実演を真剣に見つめる教室生

少年仲間づくり教室の第2回活動「絵手紙教室」が、あすなる絵手紙の会の皆さんを講師に迎え、6月19日に観月台文化センターで行われました。

参加した23名の教室生は、講師の丁寧な指導のもと、季節の野菜や置物、好きなイラストなどの題材を手元に置き、絵手紙の作成に取り組みました。

それぞれが個性あふれる絵手紙を一生懸命に作成し、家族や祖父母などにあ



作成した絵手紙を投函する教室生

てたメッセージを添え、完成したオリジナルの絵手紙をポストに投函しました。

受け取った方の笑顔が想像できる仕上がりとになりました。

暑さを忘れて熱中しました

少年仲間づくり教室「タグラグビー」



タグラグビーに挑戦する教室生

聖光学院高等学校ラグビー部の皆さんを講師に迎え、第3回の活動「タグラグビー教室」が観月台文化センター体育館で行われました。

参加した教室生23名は、ラグビー部顧問の佐藤忠洋先生の指導により、ラグビー部員25名と一緒に準備体操から始まり、ラグビーボールの扱い方や投げ方、腰に付けたタグの取り方など遊びを交えながら、楽しく学びました。最後には、

4チームに分かれて試合をすることができました。

蒸し暑い体育館での活動となりましたが、福島大学の学生ボランティアのお姉さんやラグビー部のお兄さんと一緒に、仲良く元気に活動していました。

めざせ!!町の読書リーダー

子ども司書講座開講



閉架書庫を見学しました

町の読書リーダーを育成する子ども司書講座の開講式が6月26日、観月台文化センターで行われ、今年度は受講生3名でスタートしました。

開講式後の第1回講座では、これまでに講座を終了した子ども司書3名が先生になり、本の貸出・返却の仕方やカウンター業務についての講義を行い、利用する方への対応のポイントについても分かりやすく説明しました。

その後の実技では、初めて触れる図書システムに緊張気味だった受講生でしたが、先輩子ども司書のサポートで落ち着いて操作す



本の貸出・返却体験

ることができました。

センター内の図書施設見学では、普段入ることのできない閉架書庫の蔵書に興味津々の様子で、図書館司書の呼びかけにより、借りた本や図書館に置きたい本を選びました。

オーラルケアについて学びました

3学級合同学習 健康セミナー

3学級合同学習健康セミナーが6月30日に開催され、51名が参加しました。

ほけん課国保係の大内恵専門保健師を講師に迎え、今話題となっている「オーラルケア」について、講義が行われました。

口腔から様々な病気にかかる可能性があることや、「健康」と「要介護」の間を「フレイル」といい、「虚弱」を意味する言葉だということを知りました。



オーラルケアを学びました

常に「オーラルフレイル」(口腔虚弱)にならないよう「お口の体操」、「お口のケア」について、生活の中で取り入れる工夫などを学習しました。



陣取りゲームに熱中する児童たち

国見つ子わんぱく広場

からだを使った遊びを楽しもう

国見つ子わんぱく広場の第2回活動は、町レクリエーション協会(鈴木道代会長)の皆さんを講師に迎え、児童52名が参加し「からだを使った遊び」を楽しみました。

バルーンロケット作成では、風船が割れてしまい驚いたり、羽を付ける向きや位置に苦戦しながら作成する姿も見られましたが、友達同士で飛び方を競い合う



風呂敷遊びを楽しむ児童たち

など楽しく取り組みました。平均台では友達が渡り終えた時に拍手をするなど、グループ内で応援し励みに活動しました。

第45回国見町駅伝競走大会

日時：10月31日(日) 午前8時 開会
 午前9時スタート

コース等：上野台運動公園の周回コース
 (6区間：12.4km)

申込期限：9月10日(金)



出場チーム募集中!!

生涯学習課文化スポーツ係 585-2676

国見まちづくり株式会社の決算状況

町の出資する法人、国見まちづくり株式会社は、道の駅国見あつかしの郷等の指定管理を担っていますが、開業4年目の決算状況などをお知らせします。

来場者は、年間130万人(前年比△14.6%)で開業以来の累計は615万人となり、引き続き多くの方にご利用いただきました。令和2年度の決算は、コロナ禍の影響を大きく受け、売上が343,409千円(前年比△7.8%)、当期純損失が△8,835千円となり、3期ぶりの赤字決算でしたが、減価償却費を除く単年度収支では1,888千円の黒字となりました。

◆令和3年3月31日現在

資産総額	150,943千円
負債総額	116,842千円
資本総額	34,101千円

【決算の概要】

項目	金額(千円)
売上高	343,409
売上原価	160,552
販売費・一般管理費	223,745
営業利益	▲40,888
営業外収支	32,708
税引前利益	▲8,180
法人税等	205
当期純利益	▲8,385

※売上高は、総額方式(レジ通過売上)ではなく、純額方式によるもの。

※一般管理費には、減価償却費10,069千円を含む。

対象要件・補助上限額を拡大しました!!

結婚新生活を 応援します



婚姻に伴う新生活を経済的に支援し、少子化対策を推進するため、「国見町結婚新生活支援事業補助金」を交付します。

●対象者(次の要件をすべて満たす人)

- 令和3年1月1日から令和4年3月31日までに婚姻届を提出し、受理された夫婦
- 婚姻日における年齢が夫婦ともに44歳以下
- 令和2年1月1日から令和2年12月31日までの夫婦の合計所得が500万円未満(離職した場合は、算出方法が異なります)
- 対象となる住居が国見町内にある
- 夫婦の住所が対象となる住居にある
- 町税等の滞納がない
- 他の公的制度による家賃補助を受けていない
- 過去にこの制度に基づく補助を受けていない

●対象経費(対象となる経費は次のとおり)

※他の公的支援等を受けているものは対象外

- 住居費 婚姻を機に新たに住宅を取得する費用または住宅物件の賃借に係る賃料等
- 引越費用 引越し業者または運送業者への支払い等引越しに係る実費

●補助金額

対象となる経費の合計額とし、上限45万円

●必要書類

- 交付申請書
- 婚姻届受理証明書または戸籍謄本
- 所得・課税証明書
- 住居費用の領収書等支払の確認できる書類
- 引越費用の領収書等支払の確認できる書類
- 住宅手当支給証明書
- 貸与型奨学金の返還額のわかる書類
- その他町長が必要と認めるもの

●申請受付期間

令和4年3月31日まで

●申請方法

申請に必要な書類を添付して、福祉課社会福祉係へ提出してください。詳しくは問い合わせください。

福祉課社会福祉係 ☎ 585-2793



地域おこし協力隊
三好 菜月

地域おこし協力隊活動日記 vol.11

「放課後塾ハル」で大事にしたいこと



こんにちは、地域おこし協力隊の三好菜月です。国見に移住してから、早くも4か月が経ちました。

現在、私は「放課後塾ハル」の塾長を務めさせていただいております。町の方々のサポートのおかげで、6月から中学生対象の公営塾「放課後塾ハル」が無事に開塾し、中学3年生が受験に向けて学習に取り組んでくれています。(中学1年生と2年生は、9月から受け入れ開始予定。)

さらに8月からは小学5年生と6年生を対象に「放課後塾ハル 小学部」が始動していきます。



私は「放課後塾ハル」という場を通じて、子どもたちが自分の将来を前向きにとらえて行動できるようになってほしいと願っています。そのためには、彼らより長く生きている私たち大人がまずは将来に対して希望を持ち、自分たちが行動しつづけ、彼らにその背中を見せていくことが大切だと考えています。

私自身まだまだいたらない点は多々ありますが、子どもたちが少しでも自分の人生を「見晴るかせる」ように、一人ひとりと丁寧に向き合いながら、彼らに伴走し、日々の活動に励んでまいります。

※「見晴るかす」:古語。晴れる、心が晴れ晴れとする、遠くを見渡すという意味。



ししど そなた

わかばやし ひろと

さとう かな

えちぜん あおは

くにみ幼稚園 (年長組)

心なみオオたち

お知らせ

児童扶養手当などの手続きはお早めに

8月から9月にかけては、「児童扶養手当」「特別児童扶養手当」「ひとり親等家庭医療費助成」の受給資格確認・更新期間です。対象者にはそれぞれ通知していただきますので、受付期間内に忘れずに手続きをしてください。

▼児童扶養手当
離婚などにより父又は母がいない18歳未満の児童を監護する母又は父等に対し、支給される手当

▼特別児童扶養手当
一定以上の障がいを持つ20歳未満の児童を監護する父母等に対し、支給される手当

▼ひとり親等家庭医療費助成
離婚などにより父又は母がいない18歳未満の児童を監護する母又は父等に対し、保険診療の自己負担分の一部を助成する制度

※いずれも所得などの要件

低所得の子育て世帯への生活支援特別給付金

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し生活の支援を行うため、子育て世帯生活支援特別給付金として、児童一人につき一律5万円が支給されます。(ひとり親世帯で、すでに支給された方を除きます)

給付にあたっては、一部を除き申請が必要となります。対象者や申請手続きなどの詳細については、町ホームページを確認いただき、お問い合わせください。

厚生労働省「子育て世帯生活支援特別給付金」コールセンター
☎ 0120・400・903 (ひとり親世帯分)
☎ 0120・811・166 (ひとり親世帯以外分)

【ひとり親世帯以外分】
☎ 585・2793
※詳しくはこちら



【ひとり親世帯以外分】



8月15日の黙祷と半旗の掲揚

8月15日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」として、日本武道館で政府主催の全国戦没者追悼式が開催されます。

町においても、先の大戦で亡くなられた方々を追悼し、平和を祈念するため、次のおり黙祷と半旗の掲揚を実施します。趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

・式典当日(8月15日)の正午、各家庭や職場などで、1分間の黙祷をささげてください。

【ひとり親世帯以外分】
☎ 585・2793
※詳しくはこちら

【ひとり親世帯以外分】
☎ 585・2793

令和4年度「児童福祉週間」標語の募集

毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種行事を行っています。令和4年度の児童福祉週間に向けて、その象徴となる標語を募集します。詳細については児童育成協会のホームページを確認いただき、お問い合わせください。

▼募集期間 8月1日(日)から9月30日(日)
※郵送の場合は、当日消印有効

▼募集内容 子どもたちを応援する標語や、未来に向けての子どもたちからのメッセージとなる標語

▼主催者 厚生労働省・(社)全国社会福祉協議会・(公財)児童育成協会

(公財)児童育成協会
☎ 03・5357・1174

「子どもの人権110番」強化週間

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、8月27日から9月2日までの7日間、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰など子どもの抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談は人権擁護委員及び法務局職員が応じます。秘密は守られます。気軽に相談ください。なお、強化週間の期間以外の日(土日・祝日を除く)においても、午前8時30分から午後5時15分まで相談に応じていますので、利用ください。

▼期間 8月27日(金)から9月2日(日)までの7日間
▼時間 午前8時30分から午後7時まで
※土日は午前10時から午後

5時まで
☎ 0120・007・110 (フリーダイヤル)
☎ 福島地方法務局人権擁護課
☎ 534・1994

「働くこと」に悩みはありませんか?

福島県北・相双地域若者サポートステーションは、「働くこと」に悩みを持っている15〜49歳までの無業状態の方とその家族をサポートする厚生労働省委託の支援機関です。

一人で悩まずにまずは気軽に問い合わせください。あなたの踏み出す一歩に寄り添います。

▼開所日
月・水・金・土(月2回)
10時から18時
火・木
10時から19時

☎ 563・6222
☎ 福島県北・相双地域若者サポートステーション



県北都市計画道路変更更公聴会を開催

県北都市計画道路の変更に関する公聴会を開催します。

▼日時 8月31日(日)午後6時30分から
▼場所 観月台文化センター1階

▼素案の内容 都市計画道路・福島国見線(国道4号)
▼素案の縦覧期間 8月10日(日)から8月24日(日)午前8時30分から午後5時15分(平日のみ)

▼縦覧場所 町建設課、県北建設事務所企画調査課、福島県都市計画課
▼公述の申し出の受付 公聴会で計画案に意見を述べようとする方は、8月24日(日)までに縦覧会場に備え付けの用紙に必要事項を記載し、申し出てください。

☎ 521・7508
☎ 福島県都市計画課

自衛官を募集

募集種目	資格	受付期間	試験期日
一般曹候補生	18歳以上 33歳未満	9月6日まで	1次：9月16日～19日※ 2次：10月9日～24日※
自衛官候補生	18歳以上 33歳未満	年間を通じて受付	受付時にお知らせします。

※いずれか1日を指定されます。

☎ 545・7995
☎ 福島募集案内所

8月の各種相談会

『心配ごと相談』
◆日時 8月12日(日)、26日(日) 午前9時～正午
◆場所 観月台文化センター 第2和室
◆相談員 民生児童委員

『障がい者相談』
◆日時 8月17日(金) 午前10時～午後4時
◆場所 観月台文化センター 第2和室
◆相談員 NPO法人「ひびきの会」

『国見町結婚世話やき人 月例相談会』
◆日時 8月22日(日) 午前10時～午後3時
◆場所 観月台文化センター 第2研修室

※秘密は厳守、相談無料です。
☎ 585-2793

令和3年8月教育委員会定例会

◆日時 8月20日(金) 午後5時15分から
◆場所 観月台文化センター 第1会議室
◆案件 決まり次第、お知らせします。
教育委員会は公開しており、傍聴できます。傍聴希望の方は直接会場までおいでください。(人事案件等、公開しない場合があります。)
☎ 585-2892

農業委員会

8月の農業委員会定例会総会は次のとおりです。傍聴においでください。
◆日時 8月18日(日) 午後1時30分から
◆場所 国見町役場2階 大会議室
☎ 585-2890

8 くにみカレンダー

- 8/10 火 ・広報くにみ8月号発行日
・わんぱく広場特別活動（～11日）
- 11 水 ・戸籍窓口延長日（午後7時まで）
・心配ごと相談
- 12 木 ・ジュニア応援団（聖火種火起こし）
- 13 金 ・ジュニア応援団（聖火フェスティバル）
- 14 土
- 15 日
- 16 月 ・いきいきサロン山根（午前10時～）
徳北・第7（午後1時半～）
- 17 火 ・障がい者相談
・粗大ごみ収集日
- 18 水 ・ニコニコ相談会
・戸籍窓口延長日（午後7時まで）
・乳幼児健診（3・9か月）
・いきいきサロン第2（午後1時半～）
・ブックスタート
- 19 木
- 20 金
- 21 土
- 22 日 ・結婚世話やき人相談会
- 23 月 ・いきいきサロン板橋（午前10時～）
- 24 火 ・いきいきサロン石母田（午後1時半～）
- 25 水 ・戸籍窓口延長日（午後7時まで）
・いきいきサロン大枝（午前10時～）
泉田中（午後1時半～）
- 26 木 ・心配ごと相談
- 27 金 ・いきいきサロン源宗山（午前10時～）
・青少年育成町民会議「家庭の日」作品審査会
- 28 土
- 29 日 ・国見町・桑折町青少年健全育成剣道大会
・第15回市町村対抗福島県軟式野球大会国見町チーム結団式
- 30 月 ・いきいきサロン高城（午後1時半～）
- 31 火 ・乳幼児健診（1歳6か月）
・粗大ごみ収集日
- 9/1 水 ・いきいきサロン太田川（午後1時半～）
・戸籍窓口延長日（午後7時まで）
- 2 木 ・いきいきサロン塚野目（午後1時半～）
- 3 金 ・いきいきサロン第4（午後1時半～）
- 4 土
- 5 日
- 6 月 ・いきいきサロン川内（午後1時半～）
・観月台文化センター休館日
- 7 火 ・いきいきサロン内谷・鳥取（午後1時半～）
- 8 水 ・いきいきサロン第3（午後1時半～）
・女性教室（移動教室）
・戸籍窓口延長日（午後7時まで）
・心配ごと相談
・いきいきサロン耕谷（午前10時～）
・いきいきサロン藤田（午後1時半～）
・阿津賀志学級研修旅行
・移動図書館（1年生）
- 9 木

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため記載の各種事業やイベントなどが中止・延期となる場合があります。最新情報については町ホームページ又は担当課などへ確認してください。

9月の休日当番医（診療時間：午前9時～午後5時）

当番日	医療機関名	電話番号
5日(日)	神岡クリニック (伊達市霊山町掛田中町 11-1)	☎ 586-1318
12日(日)	北福島医療センター (伊達市箱崎東 23-1)	☎ 551-0551
19日(日)	菊地整形外科 (伊達市坂ノ上 10-1)	☎ 583-2633
	伊藤皮フ科クリニック (伊達市岡前 20-1)	☎ 551-1121
20日(月)	桑名医院 (伊達市片町 41)	☎ 583-3024
23日(木)	すずき医院 (伊達市保原町西町 175)	☎ 575-2563
26日(日)	こばやし子ども・内科クリニック (伊達市梁川町内町 47)	☎ 577-0663

※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

6月21日～7月20日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

● 誕生おめでとう ●

(光明寺) 遠藤 永^な柳ちゃん 正浩さん
美貴さん

● おくやみ申し上げます ●

穴戸 且郎さん 74 (山崎宮館)
松浦 ユキさん 85 (築館)
武田つな江さん 89 (泉田下)
薄 トメさん 98 (国見の里)
佐野 隆之さん 67 (第7)
徳江 吉郎さん 72 (滝山)
鈴木 三好さん 98 (川内)
菅野 シゲ子さん 90 (前田)
高橋 ツヨノさん 97 (山崎沢田)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和3年6月30日現在

※住民基本台帳人口

人口	8,700 人	(- 10)
男	4,179 人	(+ 1)
女	4,521 人	(- 11)
世帯	3,421 世帯	(+ 4)

まちの情報ボックス

今月の納期

納期限：8月31日(火)

町県民税（普通徴収）	第2期
国民健康保険税（普通徴収）	第2期
後期高齢者医療保険料（普通徴収）	第1期
介護保険料（普通徴収）	第2期

戸籍窓口延長

毎週木曜日（祝日などは除く）は住民防災課戸籍係窓口業務を午後7時まで延長しています。

《交付できる証明書等》

住民票・戸籍証明書・印鑑登録証明書の交付、印鑑登録、戸籍の届出、マイナンバーカードの申請・交付

☎ 住民防災課戸籍係 ☎ 585-2115



『広報くにみ』をもっと身近に！

スマートフォンやタブレット端末などで、いつでもどこでも簡単に便利に「広報くにみ」を読むことができるよう「マチイロ」「マイ広報紙」を導入しています。ぜひ、活用ください。

ダウンロードはこちら /

マチを好きになるアプリ

App Store からダウンロード Google Play で手に入れよう

- ☑ スマートフォンやタブレット端末専用のアプリ。広報紙のページそのままのレイアウトで、ページをめくる感覚で読むことができます。
- ☑ 初期設定でお住まいのエリアを「福島県国見町」に設定すると、広報紙のほかに町ウェブサイトの新着情報なども届きます。
- ☑ 配信対象：広報くにみ、議会だより

市区町村の広報紙をネットやスマホで

マイ広報紙

ホームページにアクセス /

- ☑ 広報紙を記事カテゴリごとに分割してデータ化し、インターネットで無料配信するサービス。
- ☑ 写真やイラストは表示されないため、記事(文章)のみを読みたい場合に適しています。
- ☑ 配信対象：広報くにみ、お知らせ版



スタッフ手作りの「蓮の葉シャワー」

広報くにみ8月号をお読みいただきありがとうございます。今月号ではあつかし千年公園を特集しました。何度足も足を運んで撮影をしたのですが、蓮の花が見せる表情がいつも違って、一日の中でも色合いや花の開き方が変化していくので、楽しく撮影ができました。

今月号の表紙は「蓮の葉シャワー」です。あつかし千年公園で開催中の「くにみ蓮まつり2021」のスタッフが手作業で作成し、設置したものです。蓮は地下茎の空洞が葉の先まで繋がっているため、葉の周囲を数センチ切り取り、茎にホースを取り付けて水を流すと、葉の中心と葉の周りから水が放射状に勢いよく噴き出します。公園に訪れた子どもたちは、夏の暑い日差しのもと「蓮の葉シャワー」から噴き出した冷たい水しぶきを浴び、満面の笑みを見せていました。

編集後記

国見の輝き人

国見町商工会青年部員の齋藤規矩雄（有限会社サイトウホーム）さんにインタビューしました。齋藤さんは、4月に開催された「商工会青年部主張発表大会」県北大会で、『国見町希望の光プロジェクト2020』をテーマに発表を行い、最優秀賞を受賞しました。

今後は県北地区の商工会青年部代表として県大会に出場し、上位入賞が期待されています。



きくお
齋藤 規矩雄 さん
(第8)

～国見町で活躍する人を紹介～

vol.19

一商工会青年部主張発表大会とは

商工会青年部で経験したことや学んだこと、みなさんに伝えたいことを主張（発表）する大会です。自分が所属している商工会は、仲間たちとこんな活動をしているんだということを他の商工会にPRする場でもあります。

一県大会に向けた抱負をお願いします

本来であれば、昨年の県大会に出場する予定でした。しかし、コロナ禍によって県大会が中止となり、約2年待った県大会です。リベンジを果たすつもりで、全力を尽くしたいと思います。

一自身の今後について（抱負や町に対する思い）

これからの時代はコロナ禍への対応も含め、さまざまな課題に立ち向かわなくてはならないと思っています。新しいことにどんどん挑戦していくことも必要だと思います。ですが、一番難しいことは「現状維持」だと考えています。先代が築いてきたことを守り、維持発展させていくことに対しては大きなプレッシャーもあります。生まれも育ちも国見町の私にとって、町に根付いた形での「現状維持」を第一の目標として頑張っていきたいと思います。

町長コラム



ま
真 こらむ

【第1回】

800年間の思いを受け継いだ私たちが1000年後の人たちへ思いを伝える

7月10日午後7時、下二重堀地区に完成した「あつかし千年公園」がライトアップされました。藤原泰衡が一族の矜持と地域愛をかけて築いた防塁は、800年間この地にあり続けました。私たちのこの防塁は、「元寇防塁」や「水城防塁」と併せ、日本三大防塁に挙げられます。その誇りは昭和56年3月、当時のたくさんの人の思いと努力で、国史跡に指定されました。これは、この地に暮らした先人たちが「二重堀」と呼んで親しみ、愛し、守り、私たちに残してくれたからです。

そして私たちは今、1000年後にこの地に暮らす人たちに向けて、今の私たちの思いや願いを込めて整備した「あつかし千年公園」を贈ることとしました。

中尊寺ハスの咲き誇る今、この公園が防塁とともに皆に愛され、親しまれますように…。

引地 真

